

平成25年第10回定例教育委員会

平成25年10月31日(木)午後2時

江別市教育庁舎 大会議室

出席者	委員長	長谷川 清 明	説明員	教育部長	佐藤 哲 司
	委員	相馬 範 子		教育部次長	斉藤 俊 彦
	委員	上野 聡 志		学校教育支援室長	
	委員	郷 早 見			苅谷 正 樹
	教育長	月 田 健 二		総務課長	萬 直 樹
				総務課参事	三 富 一 義
				学校教育課長	伊藤 忠 信
				学校教育支援室参事	
					浦田 和 秀
					金子 武 史
				給食センター長	福井 洋 春
				対雁調理場長	鈴木 正 淑
				生涯学習課長	岩 渕 仁
				生涯学習課主幹	渡 辺 美 登 里
				情報図書館長	大 村 勇 二
				郷土資料館長	小 林 則 幸
			記録員	総務課総務係長	近 藤 澄 人
			傍聴者	8名	

1 報告事項

- (1) 平成26年度予算編成方針について
- (2) 平成25年度学校給食表彰について

2 審議事項

- 平成25年議案第33号
職員の休職発令について
- 平成25年議案第34号
江別市立小学校及び中学校通学区域規則の一部を改正する規則の制定について
- 平成25年議案第35号
指定管理者の指定について
- 平成25年議案第36号
指定管理者の指定について
- 平成25年議案第37号
指定管理者の指定について
- 平成25年議案第38号
指定管理者の指定について

3 その他

- 各課所管事項について
 - (1) 中学生サミットの開催について
- 次回教育委員会予定案件について
- 平成25年第11回定例教育委員会の日程について

会 議 録

長谷川委員長	<p>(開会)</p> <p>それでは、ただいまから、平成25年第10回定例教育委員会を開会いたします。本日の議事日程は配付のとおりであります。</p> <p>会議に先立ち、本日の会議録署名人を郷委員さんをお願いいたします。議事に入ります前に、お諮りしたい事項がございます。</p> <p>議案第33号職員の休職発令については人事案件でありますことから、秘密会による審議をご提案するものでございます。これにご異議ございませんか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>委員の皆様のご賛同が得られましたので、議案第33号は秘密会により進行いたします。</p> <p>本件を本日の審議順の最初に行い、秘密会終了後は、その他の説明員入室のため暫時休憩いたします。その後、配付の会議次第にしたがって進行してまいります。</p> <p>また、議案第35号ないし議案第38号の指定管理者の指定については、一括説明、一括質疑、一括承認を諮る形で進めてまいります。</p> <p style="text-align: center;"><秘密会につき会議録省略></p>
長谷川委員長	<p>委員会を再開します。</p> <p>議事に入ります。</p> <p>1の報告事項(1)に入る前に、前回の定例教育委員会で回答が保留となっている学校図書館における蔵書率の全国平均値につきまして、大村情報図書館長答弁願います。</p>
大村情報図書館長	<p>前回の定例教育委員会で蔵書率の全国平均についてのご質問がありましたが、文部科学省の学校図書館の現状に関する調査では、蔵書率ではなく、図書標準達成学校数の割合で調査しておりまして、学校図書館に整備すべき蔵書の標準に達した学校が平成23年度末で、全国では小学校が56.8%、中学校が47.5%となっております。</p> <p>江別市の図書標準達成学校数の割合は、小学校が10.5%、中学校が0%であり、全国平均を大きく下回っております。</p> <p>図書標準達成学校数の割合から、間接的に江別市の蔵書率が低いと判断はできますが、計画案の中の蔵書率は全国平均を下回っているという表現では、全国平均の蔵書率が公表されているように受け取られてしまい、適切ではありませんので、図書標準達成学校数の割合は全国平均を下回っているという文言に訂正いたします。</p>
長谷川委員長	<p>ただいまの件につきまして、質問等ございましたらお願いします。</p> <p>(なし)</p> <p>それでは、本件については終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p>
佐藤教育部長	<p>それでは、1の報告事項(1)平成26年度予算編成方針についての報告を求めます。佐藤教育部長お願いします。</p> <p>平成26年度予算編成方針について、報告申し上げます。</p> <p>去る10月11日の庁議を経て、市長から示されたもので、資料に記載の内容は市のホームページでも公開されておりますので、私から、特徴的な事項について申し上げます。</p> <p>初めに資料1ページ、総論であります。国内景気は回復が期待される状況にあるものの、国の財政状況は、長期債務残高が他の先進諸国に比べて大きく悪化しており、依然として危機的な状況が続いています。</p> <p>国の中期財政計画では、当面の目標として国と地方を合わせた基礎的財政収支の改善に注力しながら、地方の一般財源の総額については、平成26年度と27年度は、平成25年度地方財政計画と同水準を確保するとしていますが、特徴的なこととして、平成26年4月に消費税が現行の5%から8%に引き上げられるため、この影響による財源確保が課題となってきます。</p> <p>また、平成26年度は、江別市において、新しい総合計画(えべつ未来づくりビジョン<第6次江別市総合計画>)がスタートする年度でありますので、これまでの5次総計の進捗等も踏まえ、前期5か年間の政策を立案するとともに、既存事業の見直しや新たな財源確保が強く求められているところであります。</p>

佐藤教育部長	<p>次に、政策の基本方針といたしましては、えべつ未来づくりビジョン（案）のまちづくりの基本理念に掲げた「安心して暮らせるまち」、「活力のあるまち」、「子育て応援のまち」、「環境にやさしいまち」の4つのまちづくりの基本理念と、基本理念の根幹となる「協働のまちづくり」の考え方を踏まえながら、政策形成を意識することとされています。</p> <p>また、基本理念に基づいたまちづくり政策を推進するため、重点的・集中的に取り組む「えべつ未来戦略」を政策の中核に据えて推進するとされています。</p> <p>市長からは、こうした次期総合計画等への対応のほか、江別市が市政60周年になって消費税増税、オリンピックなどの事情変化は一つの契機となること、事業を統合するなどして見直し、アピールもすることなどの指示がありました。</p> <p>2ページの重点事項（えべつ未来戦略の推進）は、1、ともに作る協働のまちづくり、2、えべつの将来を創る産業活性化、3、次世代に向けた住みよいえべつづくり、4、えべつの魅力発信シティプロモートとなっており、教育部としては、1のともに作る協働のまちづくりと3の次世代に向けた住みよいえべつづくりに関わっております。</p> <p>3ページの基本方針以降は説明を省略させていただきますが、一番最後のページにあります平成26年度の予算編成事務日程は、現時点での予定として、11月6日が経常経費予算要求書提出期限、11月26日が臨時経費予算要求書提出期限、12月18日と19日が重要事業理事者ヒアリング、1月30日に予算案内示、31日に予算案が確定いたしました。2月7日に予算記者発表を予定しております。</p> <p>これに対応する教育委員会の関係では、11月に予算要求方針等をお諮りし、12月には予算要求案に関する主要事業等を、2月には査定された教育予算全体と主要事業、来年度の教育行政推進計画をお諮りする予定でございます。</p> <p>以上が予算編成方針と今後の日程に関する概要であります。教育委員会といたしましては、学校耐震改築など、大規模な建設事業が続くこととなります。さらには学校体育館のバスケットゴールなど、非構造部材の耐震化のほか、社会体育施設の耐震化も迫られていますので、改築や補修にかかる経費は相当大きな額になってくると考えております。</p> <p>また、ソフト面でも、学校教育や生涯学習の充実がいつそう求められていると考えております。</p> <p>予算要求事務は、新たな総合計画に関する事務と併行するため、相当過密なスケジュールとなりますが、江別市の教育政策の柱である「豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実」を着実に実現するべく、教育行政進展に向けた予算となるよう鋭意、努めてまいります。以上であります。</p>
長谷川委員長	<p>ただいま報告のありました平成26年度予算編成方針についての質問等がございましたらお願いします。</p>
上野委員	<p>たいしたことではありませんが、9ページのその他要求に当たっての留意事項で、ノーツ掲示板に掲載する新様式を必ず使用することとありますが、あまりよく分かりません。これはどういうシステムですか。</p>
佐藤教育部長	<p>一般的な用語ではございませんが、江別市が採用しているグループウェアの名称でございます。ロータスという会社で作っているノーツという、メールを行ったり、掲示板があったりする、そういったグループウェアの名称を指して表現しております。</p>
長谷川委員長 相馬委員 佐藤教育部長	<p>ほかはいかがでしょうか。</p> <p>教育委員会の予算方針はこれからですよ。これは江別市全体のことですね。確認です。</p> <p>予算編成権は、基本的に市長に一元化されているので、教育委員会のものという概念とは少し異なっていると思います。</p>
相馬委員	<p>法的には、教育委員会は予算に対して、意見を述べるができるという位置付けになっております。ただ、事務的には、教育委員会事務局、教育長以下の職員が教育予算の要求作業を進めていき、その途中で、教育委員会の意見をお聴きする場を11月、12月と設けているという仕組みになっております。</p> <p>結局これは教育委員会としての方針ではないんですよ。私どもの教育委員会独自の方針というのは、これからなんですよ。このことに対して、どうのこうのという意見を言う気はありませんが、あえて言わせていただければ、これからが私たちにとって非常に重要だということです。これは市の事務方のスケジュールとか江別市のことですが、教育行政を預かっているのは教育委員会であるということをお忘れはいけませんので、11月の予算要求については、ここできちんと審議しなければならないと思います。</p>

<p>相馬委員</p> <p>長谷川委員長</p> <p>月田教育長</p>	<p>ここで声を大にして言いたいのは、耐震化や新しい学校ができることは、重々承知しています。その予算要求については事務局できちんとしているし、私どもも見させていただいているので分かっています。</p> <p>とにかく、現場第一主義というのが私ども教育委員会の第一の考えでありますので、学校現場、校長会や教頭会から上がってくる要求に対しては、細やかに報告していただいて、それから私どもも審議させていただきたいというのは要望としてあります。全部がどうのこうのということではありませんが、私どもが学校へ視察に行ったときに、常に現場から、こういう大変なことがあり、施設面、ソフト面でも要望があるのです。私どもは当然のことですが、きちんと把握させていただきたい。私は、予算要望とか、いろいろなことに関して審議するというを確認のために言わせていただきます。</p>
<p>佐藤教育部長</p>	<p>教育長、学校現場における教育行政に対するいろいろな要望等については、毎月定例で行っている校長会や教頭会等で、現場の意見を吸い上げながら、そして来年度に向けて取り組むべきもの、そして重要なものがあれば、当然教育委員会へ要求していくということですね。</p> <p>校長会、教頭会、事務の先生方、PTAの方々、ありとあらゆる諸団体の方々等で、予算要望委員会という組織ができておまして、各種予算につきまして、こういうことで要求したいということで、資料集と要求と両方伺っておりますので、それに基づきまして、今行っている最中であります。</p> <p>この予算編成方針の中で、私が特に注目したいのは、5ページで消費税率引上げに伴う対応ということで、消費税が上がりますといろいろな物が全部上がりますので、そこは十分やっていかなければならないと思っています。</p> <p>4ページに補助金があるのですが、教育委員会の中でも、各種団体がたくさんありまして、児童生徒数が減っているために、団体の収入がものすごく少なくなってきています。事業を縮小していけばいいのしょうけれども、縮小できない部分もあるのです。例えば、中体連はすべて行事を組んでいかなければならないということで、それらはどうなのかということをも十分考えていかなければならないと思っています。</p>
<p>長谷川委員長</p>	<p>教育長からもございましたように、予算要望委員会からの学校関係の書類はあります。ただ、ものすごく厚みがあって、委員さんにお配りできるボリュームではありません。大変なページ数になりますので、学校の要望を全部委員さんにお配りするというのは、そんなに簡単ではないと思っています。</p> <p>また、昨日も体育協会が来ましたが、私学などいろいろな団体から要望書を受けております。それらはかなりのボリュームになるので、次回この予算の段階で、そういった内容についての概要をご説明しようと思っておりますけれども、資料提出となりますと、あまりにも多くてなかなか難しいと思っています。そのことについては、次回11月の段階で各課から主にどんな要望があったのかを触れさせていただこうと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
<p>金子学校教育支援室参事</p>	<p>ほかはいかがですか。それでは、本報告について終了してよろしいですか。 (一同了承)</p> <p>次に、報告事項(2)統合校の学校名募集についての報告を求めます。金子参事お願いします。</p> <p>統合校の学校名募集についてご報告いたします。</p> <p>江別小学校・江別第三小学校統合校準備委員会において、現在、統合校の校名について協議を行っており、校名案の募集方法について、おおむねまとまってきましたので、資料はありませんが概要についてご説明します。</p> <p>まず、募集の趣旨としては、教育委員会に対して校名案を推薦するために、広くアイデアを募集するものとします。募集の時期については、12月から1月頃を予定します。</p> <p>応募資格については、特に居住地などを限定せず、広く募集するものとします。また、名称には一切条件を付けず、自由に応募してもらうこととします。なお、募集の際の注意書きとして、多数の応募があった校名を採用するわけではないことや両校が閉校して新設される学校だということを明示することとしています。募集の実施については、教育委員会が行うものです。</p> <p>募集終了後、決定までの流れとしては、まず統合校準備委員会での協議により校名案を選定した結果を教育委員会へ報告し、教育委員会での協議により校名を決定した後、学校</p>

金子学校教育 支援室参事	<p>設置条例改正の手続となります。</p> <p>以上が、学校名募集の概要ですが、募集案内等については、11月13日の統合校準備委員会において協議される見込みですので、詳細が固まりましたら改めてご報告したいと思います。以上です。</p>
長谷川委員長	<p>ただいま報告のありました統合校の学校名募集について、質問等がございましたらお願いします。</p>
郷委員	<p>11月13日の統合校準備委員会ということですが、公募の方法だとか、そういう内容も含めて、統合校準備委員会で決めるということですか。</p>
金子学校教育 支援室参事	<p>次回の11月13日では、住民の皆さん、児童の皆さんなどが目にする募集する用紙の形をそこで協議して、確定に持っていけるかなという見込みでおります。それから、募集する用紙の配布場所や、それから持参なり、郵送なり、メールなりで応募する方法、これらについてすべて決める見込みでいます。</p>
郷委員 長谷川委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ほかはいかがですか。それでは、本報告について終了してよろしいですか。 (一同了承)</p>
伊藤学校教育 課長	<p>続いて、2の審議事項に入ります。</p> <p>平成25年議案第34号江別市立小学校及び中学校通学区域規則の一部を改正する規則の制定についての説明を求めます。伊藤学校教育課長お願いします。</p> <p>平成25年議案第34号江別市立小学校及び中学校通学区域規則の一部を改正する規則の制定についてご説明します。</p> <p>資料の1ページをご覧ください。1の改正理由であります。元野幌の一部が町の区域の設定及び変更により、平成25年11月2日から大麻泉町に変更になることに伴い、江別市立小学校及び中学校通学区域規則の一部を改正するものであります。また、合わせて、字句の整備を行うものであります。</p> <p>2ページをご覧ください。2の改正規則の内容につきましては記載のとおりであります。具体的な変更箇所につきまして説明いたしますので、3ページの新旧対照表をご覧ください。</p> <p>江別市立小学校及び中学校通学区域規則のうち、表の左側、改正前の欄にあります別表第1大麻泉小学校の項中、元野幌の括弧書きの中に下線のある139番地、141番地から150番地を削るものであります。これは元野幌の当該町名地番が、大麻泉町の33番地から56番地に町名及び地番が変更となるものであります。これらの地域は、元々、大麻泉小学校の校区であり、通学区域自体は何ら変わるものではありません。</p> <p>お手元に配付しております追加の資料をご覧ください。変更となる区域は、国道12号線、一番通り、道央自動車道に囲まれた範囲で、図面のピンクに塗られた地区でありますのでご確認ください。</p>
長谷川委員長	<p>次に、資料の4ページをご覧ください。第1号様式において、表の左側、改正前のひらがなのあて先を、字句の整備のため、表の右側、改正後のように漢字の宛先に変更するものであります。</p> <p>資料の5ページ、第2号様式も同様の理由により改正するものであります。また、附則として、この規則は平成25年11月2日から施行することとしております。以上、ご審議のほどよろしくお願いいたします。</p>
郷委員	<p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けします。 (なし)</p>
長谷川委員長	<p>それでは、平成25年議案第34号江別市立小学校及び中学校通学区域規則の一部を改正する規則の制定についてを承認することにご異議ありませんか。 (一同了承)</p>
郷委員	<p>それでは、そのように承認いたします。</p>
郷委員	<p>次に、平成25年議案第35号ないし平成25年議案第38号指定管理者の指定について、一括して説明を求めます。岩渕生涯学習課長お願いします。</p>
岩渕生涯学習 課長	<p>生涯学習課が所管しております江別市中央公民館ほか4施設、江別市民体育館ほか3施設、江別市あけぼのパークゴルフ場、江別市森林キャンプ場につきましては、江別市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例第4条の規定に基づき、平成26年4月1日から当該施設の管理を行う指定管理者となるべき団体の公募及び選定を終えたことか</p>

岩渕生涯学習課長	<p>ら、地方自治法第244条の2第6項の規定に基づき、当該被選定者を指定管理者として指定するため、あらかじめ議会の議決を求めるものであります。</p> <p>それでは、提出資料につきましてご説明申し上げます。</p> <p>資料につきましては、1から7の項目があり、1の指定管理者に管理を行わせる施設、2の申込みを受け付けた期間、3の募集要項等説明会の実施年月日、4の申込みのあった団体数、5の指定管理者選定委員会に対する申込者からのプレゼンテーション及び質疑、6の被選定者の所在地及び名称、7の指定期間となっております。</p> <p>それでは、議案別にご説明いたします。まず、議案第35号は、江別市中央公民館ほか4施設についてであります。</p> <p>申込みを受け付けた期間は、募集要項等配布期間、申込み期間ともに平成25年7月29日から9月9日まで、募集要項等の説明会は平成25年8月8日、申込みのあった団体数は1団体、プレゼンテーション等は9月24日に実施しております。</p> <p>被選定者は、江別市幸町10番地7、江別振興公社であり、指定期間は平成26年4月1日から平成30年3月31日までです。</p> <p>続きまして、議案第36号についてですが、江別市民体育館ほか3施設についてであります。</p> <p>申込みを受け付けた期間は、募集要項等配布期間、申込み期間ともに平成25年7月29日から9月9日まで、募集要項等の説明会は平成25年7月31日、申込みのあった団体数は株式会社オカモトと一般財団法人江別市スポーツ振興財団の2団体、プレゼンテーション等は9月24日に実施しております。</p> <p>被選定者は、江別市野幌町9番地、一般財団法人江別市スポーツ振興財団であり、指定期間は平成26年4月1日から平成30年3月31日までです。</p> <p>続きまして、議案第37号についてですが、江別市あけぼのパークゴルフ場についてであります。</p> <p>申込みを受け付けた期間は、募集要項等配布期間、申込み期間ともに平成25年7月29日から9月9日まで、募集要項等の説明会は平成25年8月1日、申込みのあった団体数は1団体、プレゼンテーション等は10月4日に実施しております。</p> <p>被選定者は、江別市高砂町27番地12、エコ・グリーン事業協同組合であり、指定期間は平成26年4月1日から平成30年3月31日までです。</p> <p>続きまして、議案第38号についてですが、江別市森林キャンプ場についてであります。</p> <p>申込みを受け付けた期間は、募集要項等配布期間、申込み期間ともに平成25年7月29日から9月9日まで、募集要項等の説明会は平成25年8月1日、申込みのあった団体数は1団体、プレゼンテーション等は10月4日に実施しております。</p> <p>被選定者は、江別市高砂町27番地12、エコ・グリーン事業協同組合であり、指定期間は平成26年4月1日から平成30年3月31日までです。以上、ご審議くださいますようお願いいたします。</p>
長谷川委員長	<p>ただいま説明のありました4つの議案に対する質問等がございましたら、一括してお受けいたします。</p>
上野委員	<p>議案36号の市民体育館ですが、申込みがあった団体は2団体ということで、株式会社オカモトさんとスポーツ振興財団です。株式会社オカモトさんはガソリンスタンドなどを行っている会社ですか。</p>
岩渕生涯学習課長	<p>帯広が本場で、燃料関係をメインで行っている会社です。</p>
長谷川委員長 相馬委員	<p>ほかはございますか。</p> <p>だいたい1団体の申込みなのに、今回、民間の方が手を挙げましたが、スポーツ振興財団に決定されたということです。予算面とかいろいろあると思いますが、選定の経緯を教えてください。</p>
佐藤教育部長	<p>一者であろうと複数者であろうと、団体から手が挙がり、申込み団体の選定は、市職員は2名になろうかと思えますけれども、民間が5名で、指定管理者選定委員会が設けられており、公開のプレゼンテーションを行いながら、選定委員が評価して、その結果でこの団体という選定結果を市長に報告するものであります。</p>
相馬委員	<p>その経緯は、代々教育委員会で報告があったので、プレゼンの特色について教えてください。</p>

佐藤教育部長	<p>採点がどうこうということではなくて、どういった特色があったかということで、少し触れさせていただきます。</p> <p>まず、スポーツ振興財団については、ご承知だと思いますけれども、株式会社オカモトさんは音更町で実際に体育施設、プール等の指定管理者としての実績がございます。一つ特色を申し上げますと、有料なんですけれども、何々教室というものをたくさん行っているということです。その収益をもって、指定管理料を下げるというような受け答えがプレゼンテーションであったという記憶がございます。</p> <p>一方、スポーツ振興財団は、有料の教室を増やしてということではありませんけれども、地元との密着型と言いますか、地元団体との連携の下で事業を増やしているという特色があるというようなプレゼンテーションだったと記憶しております。</p>
相馬委員	<p>最初の頃はありましたが、昨今は民間の団体が手を挙げるのがなかなかなかったものですから、お尋ねしました。</p> <p>やはり、こういう団体が出てくるということは、一目置かなくてはならないと思っています。例えば、指定管理料はどうだったのですか。私どもの市政は大変なので、選定する際に、私たちの会社はこのぐらいでやりますよという予算の基準はあるのですか。</p>
岩渕生涯学習課長 相馬委員 岩渕生涯学習課長 相馬委員	<p>指定管理料も含めて提案を頂きまして、いろいろな経費節減も独自に考えてきまして、それも一つの採点ポイントにはなっています。</p> <p>少し聞きたいのは、この団体は経費節減もかなりしていましたか。</p> <p>金額は申し上げられませんが、かなり節減意識は高いところでやっていました。</p> <p>やはり、競争原理のある企業なので、いろいろなメニューを出すし、私たちの市政も大変なので、少しでも負担にならないようなものを提供するというので、こういうことを参考にしなければならないと思います。</p>
岩渕生涯学習課長	<p>もう一度確認ですが、いろいろなものを吟味して、オカモトさんよりもスポーツ振興財団のほうが優れているということで、今回の選定結果ということですよ。</p> <p>先ほど、部長からも申し上げましたけれども、オカモトはいろいろなレクレーションプログラムが多彩という評価がありました。ただ、一方でスポーツ振興財団は新規事業はそんなに多くなかったんですけれども、市民や地域団体、それから市内の大学等と連携したものを打ち出してきて、地元密着ということで、非常に高い評価を得たということになっています。</p>
相馬委員	<p>分かりました。その説明があれば、私も納得いたします。大学との密着、地元と密着するということですね。</p>
長谷川委員長	<p>それと、ポイントがあるんですよ。この分は悪いから、そしてトータルでこちらが勝ったということですね。その中には、金額もあるだろうと思いますけれども、ほかはいかがですか。</p> <p>それでは、平成25年議案第35号ないし平成25年議案第38号指定管理者の指定についてを一括して承認することにご異議ありませんか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>それでは、そのように承認いたします。</p> <p>続いて、3のその他に入ります。</p>
金子学校教育支援室参事	<p>各課所管事項(1)中学生サミットの開催についての説明を求めます。金子参事お願いします。</p> <p>本年度のえべつ中学生サミットの開催についてお知らせします。</p> <p>えべつ中学生サミットは、市内中学校の生徒会が一堂に会し、発表や意見交換を行う場として、平成20年度から毎年1回開催しておりますが、6回目となる今年度は11月21日木曜日、午後2時から、市民会館小ホールを会場に開催されることとなりました。</p> <p>今回も昨年に引き続き、各校からえべつ中学生サミット宣言に基づいて取り組んでいる内容や学校独自の特色ある取組、また、いじめ根絶に向けた取組や考え方について順番に発表していただき、意見交換をすることになっております。</p> <p>司会進行は中学生が自ら行うこととなっており、今年度につきましては大麻中学校と大麻東中学校が担当いたします。ご都合がございましたら、是非ご来場いただきますようお願い申し上げます。</p>
長谷川委員長 佐藤教育部長	<p>本件に対する質問等がございましたらどうぞお受けします。よろしいですね。</p> <p>委員長、大変恐縮ですけれども、議事日程には記載はございませんが、ご報告したい案</p>

佐藤教育部長	<p>件1件の追加をお願いしたいと思います。</p> <p>平成25年度の学校給食表彰についてご報告したいと思います。</p> <p>文部科学省では、学校給食の普及と充実を図るため、その実施に関し、優秀な成績をあげた学校及び共同調理場を学校給食優良学校等として個人、そして個人及び団体を学校給食功労者として、昭和31年から表彰を行っております。</p> <p>この度、今年度の学校給食表彰の個人の部、学校給食功労者として、全国23人のうちの一人といたしまして、学校給食センター、センター調理場長であります永井俊昭が受賞いたしましたのでご報告をいたします。</p> <p>表彰式は本日10月31日、三重県津市で行われております全国学校給食研究協議大会の席上で受賞、表彰されているとお聞きをしております。以上でございます。</p> <p>大変名誉のあることです。今まで団体でも、過去に例はあったのですか。</p> <p>給食センターといたしまして、昭和の時代だと思いますが、同じ表彰を受けたことがあります。</p> <p>それでは、次回定例教育委員会予定案件及び日程についてを萬総務課長お願いします。</p> <p>次回の教育委員会の案件でございますが、審議事項として、平成26年度江別市一般会計教育予算についてなどを予定しております。</p> <p>また、次回、定例教育委員会の日程でございますが、11月22日金曜日、午後1時30分からと考えておりますが、各委員のご都合等はいかがでしょうか。</p> <p>今ありましたように、次回の定例教育委員会の日程について、11月22日金曜日、時間がいつもより30分早く、午後1時30分からということよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>それでは、そのように日程をお願いします。以上をもちまして、第10回定例教育委員会を終了いたします。</p> <p>(閉会)</p>
長谷川委員長 福井給食センター長 長谷川委員長 萬総務課長	
長谷川委員長	

終了 午後3時00分

署名人(委員長) 長谷川 清明

署 名 人 郷 早見